

盤の管理・盤図の出力

目次

1. 盤の管理	2
[盤の管理]ダイアログの画面	
盤の分類	
盤のタイプ	
配電盤の設定	
動力盤を分ける	
盤に複数の幹線を接続する	
2. 盤図の出力	19
[盤の管理]から出力	
[データリンク]から出力	
(参考)表の更新	

1. 盤の管理

[盤の管理]コマンドでは、盤と盤を幹線で接続し、盤の親子関係をツリー構造で作成します。分電盤につながる照明器具などの情報を回路番号を基に入力し、盤ごとの管理をすることができます。

また、[盤の管理]で作成した内容を[盤の管理]-[データリンクの設定を出力]または、[データリンク]コマンドを使用して、盤の種類ごとに盤図として図面に貼り付けすることができます。貼り付けた表は、[盤の管理]と連動します。

[盤の管理]ダイアログの画面

盤の分類(p.3参照)

親の幹線の情報

1次側の情報

幹線番号

全体の合計値

「(数字)」は、盤または、幹線番号ごとの合計値

盤名称

- : 図面に配置した盤
- : [盤の管理]で追加した盤

文字の色が黒色の値は、直接入力した値です。

文字の色が緑色の値は、項目タイプ「[キー]」となっている値です。キーの値ごとに情報が表示されます。青色は、図面上の要素などの情報とリンクした値です。(p.5~6参照)

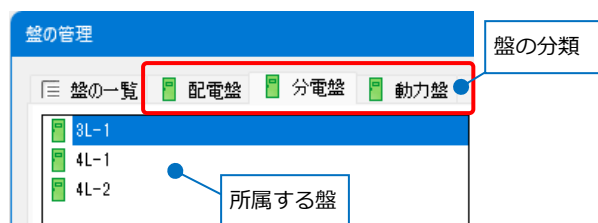
幹線No.	電源種類	相	電圧	EICB/MCCB	P	AF	AT	幹線種類	幹線寸法	豆長	負荷名称	kVA	kW	kA (最大)	A (最大)	VA (最大)	W (最大)	相	
1	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	CVT	22		3L-1	(2.55)	(2.55)	(10.079)		(10.079)			
2								CVT	14	31.0	3L-1	2.55	2.55	10.079		10.079			
3								CVT	14	33.7	3M-1	(42.89)	(34.31)	(0.185)		(0.14)			
4								CVT	14	33.7	3M-1	40.53	32.43	0.147		0.132			
5								CVT	22		3M-2	(2.93)	(1.80)	(0.008)		(0.008)			
								CVT	22		3M-2	2.86	1.88	0.008		0.008			
1+3	GAC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	600	600	CVT	22		3L-1	(3.005)	(3.005)	(13.725)		(13.725)			
								CVT	14	31.0	3L-1	3.005	3.005	13.725		13.725			

照明器具

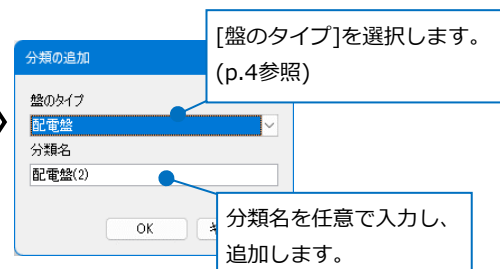
- 共通
- デザイン
- カスタム
- フロア高さ
- 部材情報
- 器具番号
- 柱番号
- 名称: LEDダウンライト
- 型番: LED1400mmFH132 (相当)
- 機器分類コード: 照明器具 [40-30-000-0000-000]
- メーカー名: -
- 備考
- 配光データ
- 接続先
- 親の接続情報 (2...)
- 電気器具
- 点滅区分
- 配線径長: 0 mm
- 負荷容量[W]: 34
- 負荷容量[VA]: 34
- 相: 1
- 電圧[V]: 100
- 運転時の定格電: 242
- 運転時の最大電: 242
- 始動方式: 工事区: 電気
- 始動方式:

盤の分類

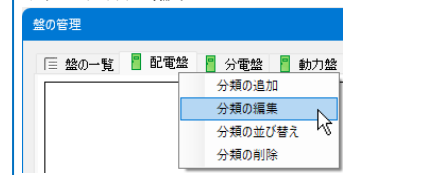
盤には「盤の分類」を設定します。[盤の管理]の分類名のタブを選択すると、所属する盤のリストが表示されます。



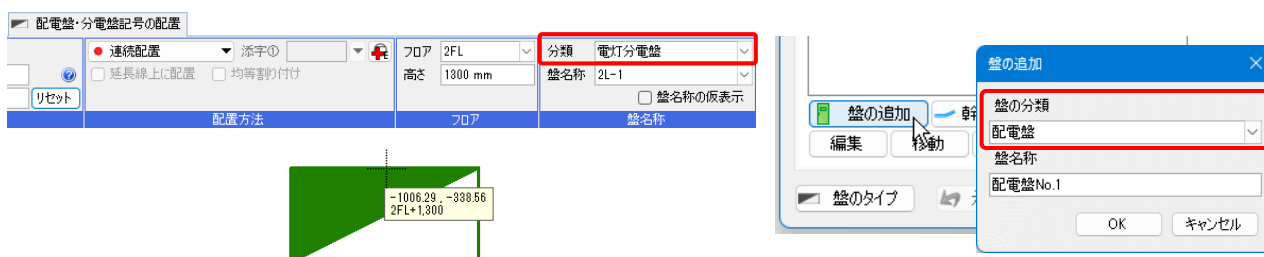
分類は[盤の管理]ダイアログで追加できます。



タブ上で右クリックし、[分類の編集]から既存の分類を編集できます。



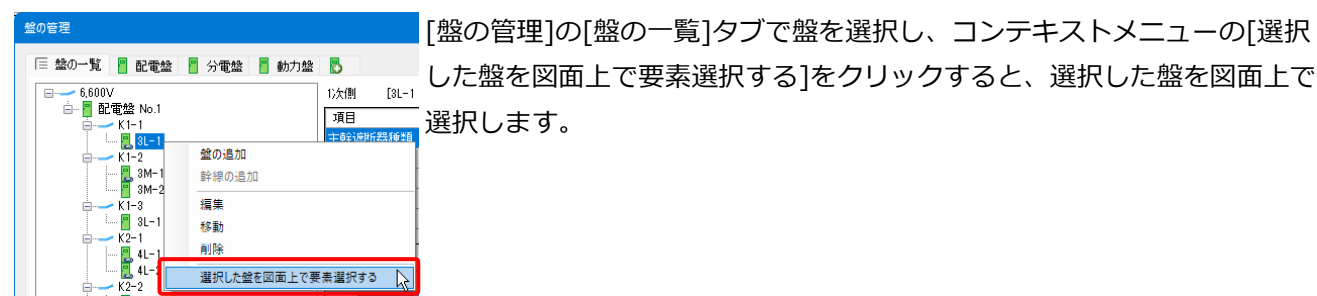
[盤の分類]の設定は、図面上に盤を配置する時、もしくは、[盤の管理]の[盤の追加]で盤を追加する時に設定します。



盤に設定した分類は、[盤の管理]の盤名称で右クリックし、[編集]から変更できます。



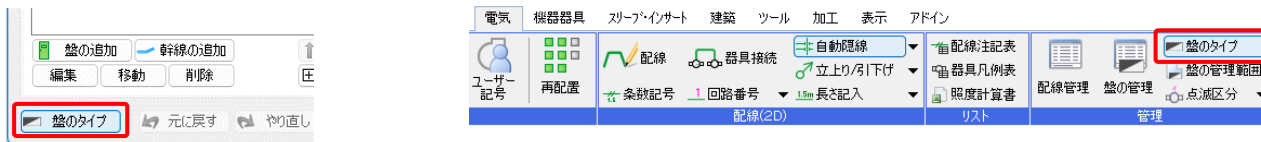
● 補足説明



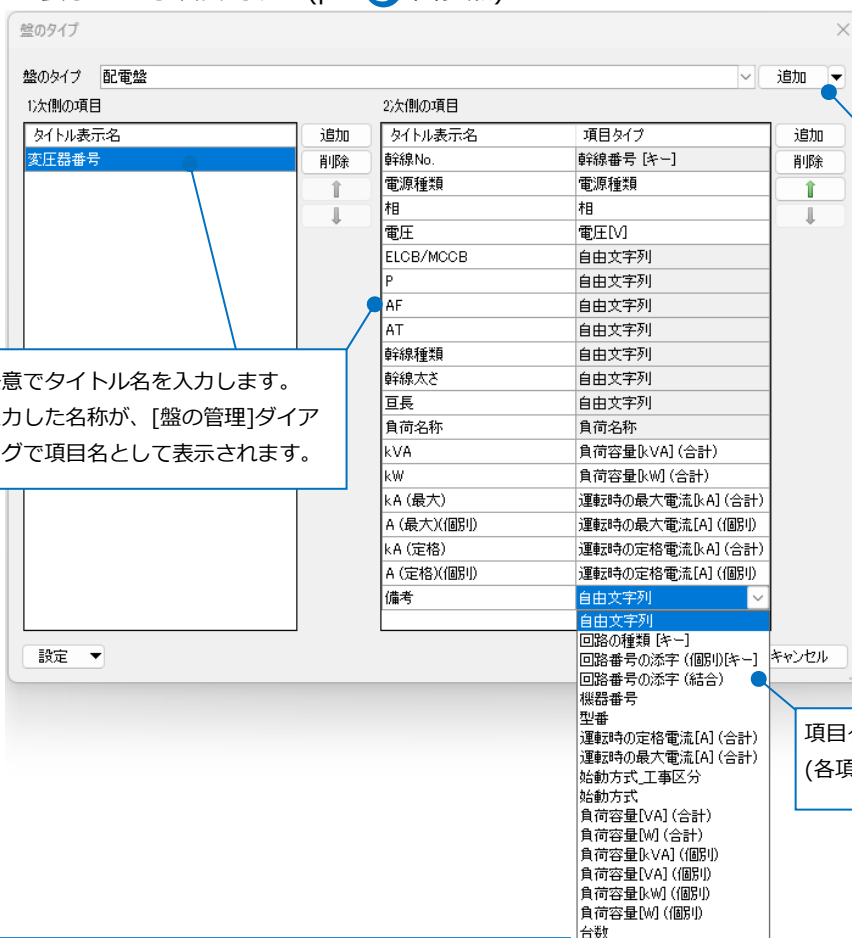
盤のタイプ

「盤の分類」ごとに「盤のタイプ」を設定します。

タイプは、[盤の管理]ダイアログの[盤のタイプ]もしくは、[電気]タブ-[盤のタイプ]で追加、編集することができます。

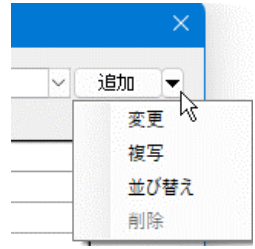


[盤のタイプ]でタイプごとに盤の情報として必要な項目を設定します。設定した項目が、[盤の管理]ダイアログで盤ごとに表示される項目です。(p.7 **3** 図参照)



任意でタイトル名を入力します。
入力した名称が、[盤の管理]ダイアログで項目名として表示されます。

[追加]をクリックし、新たにタイプを追加します。
[▼]から既存のタイプ名の変更や並び替えが行えます。



項目タイプを選択します。
(各項目についてはp.5~6参照)

Memo

[設定]-[「図面の初期値」に保存する]で設定した盤のタイプを初期値へ保存したり、[「図面の初期値」から読み込む]で[ホーム]タブ-[設定]-[図面の初期値]タブ-[コマンドの初期値]-[電気]-[盤のタイプ]から設定を読み込み反映することができます。

項目タイプ


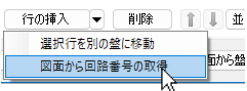
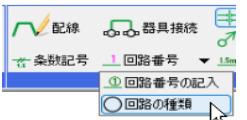
2次側で表示する内容は、項目タイプの一覧から選択します。項目タイプには、値を直接手入力する項目や、図面上の要素とリンクし、自動で値を取得する項目などがあります。

キー項目

項目タイプ名の末尾に「[キー]」とある項目ごとに[盤の管理]上で情報がまとまって表示されます。

「幹線番号[キー]」または、「回路番号[キー]」のどちらか必ず選択します。

「幹線番号[キー]」を選択した場合は、項目タイプ「負荷名称」を選択する必要があります。

項目タイプ	入力する値
幹線番号[キー]	直接入力、または[盤の管理]で設定した幹線番号から選択 
回路の種類[キー]	直接入力、または[盤の管理]-[行の挿入]横の[▼] -[図面から回路番号の取得]で図面上から自動計上 
回路番号[キー]	※図面上の器具と配線の情報も変更することができます。 ※「回路の種類[キー]」は、[電気]タブ-[回路番号]横の[▼]
回路番号の添字(個別)[キー]	-[回路の種類]で設定した種類から選択します。 

キー以外の項目：「幹線番号[キー]」を選択した場合

項目タイプ	入力する値
自由文字列	直接入力
機器番号	
負荷名称	自動計上、または[盤の管理]上から盤の選択 ※直接入力で仮想の盤(p.7参照)を追加します。
型番	直接入力
電源種類	子の盤の1次側の情報から自動計上、または直接入力
電圧[V]	※直接入力した場合、子の盤の1次側の情報を更新します。
相	(p.11参照)
運転時の定格/最大電流(合計)	自動計上、または直接入力
負荷容量(合計)	※直接入力で[盤の管理]上の表示用の値に上書きできます。
運転時の定格/最大電流(個別)	入力不可
負荷容量(個別)	
始動方式_工事区分	
始動方式	
台数	

キー以外の項目：「回路番号[キー]」を選択した場合

項目タイプ	入力する値
自由文字列	直接入力
回路番号の添字(結合)	指定した回路番号を持つ機器器具から自動計上 ※複数種類の添字が混在する場合、3個以上が連番になっている添字は「～」で結合され、それ以外はカンマ区切りで添字がリストアップされます。
機器番号	自動計上、または直接入力
負荷名称	※直接入力で[盤の管理]上の表示用の値に上書きできます。
型番	
電源種類	入力不可
電圧[V]	自動計上、または直接入力 ※直接入力した場合、図面上に配置した器具の情報も更新します。
相	※「電圧[V]」は数値のみ入力できます。 ※異なる値が混在する場合は5件まで表示します。
運転時の定格/最大電流(合計)	自動計上(各項目「(個別)」の値を基に計上)、または直接入力
負荷容量(合計)	※直接入力で[盤の管理]上の表示用の値に上書きできます。
運転時の定格/最大電流(個別)	自動計上、または直接入力
負荷容量(個別)	※直接入力した場合、図面上に配置した器具も変更します。
始動方式_工事区分	※異なる値が混在する場合は5件まで表示します。
始動方式	
台数	自動計上

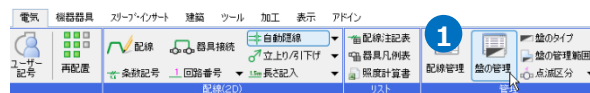
配電盤の設定

配電盤に分電盤を幹線で接続します。

サンプル図面「サンプル事務所(盤の管理).reb」を開きます。ここでは、[盤の管理]を使用し、図面に配置していない仮想の配電盤を設定します。サンプル図面に配置された器具には、回路番号が設定してあります。

仮想の配電盤を追加

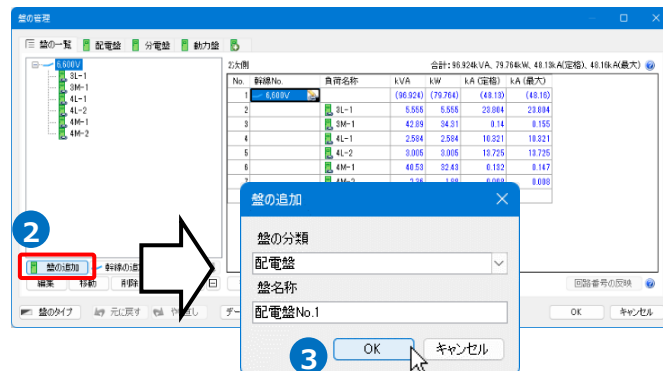
- 1 [電気]タブ-[盤の管理]をクリックします。



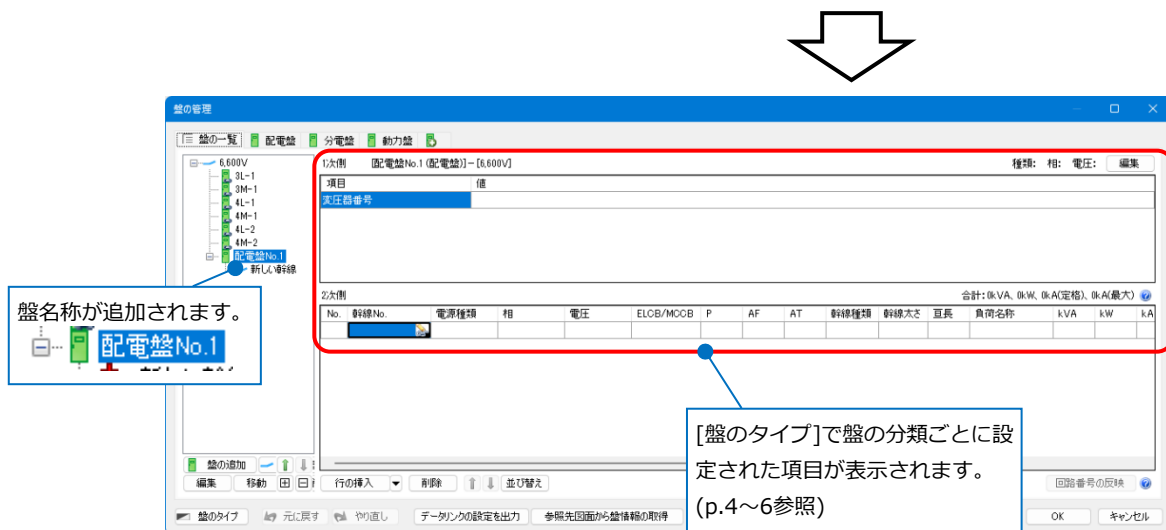
- 2 [盤の追加]をクリックし、盤の分類と盤名称を設定します。

[盤の分類]: 「配電盤」

[盤名称]: 「配電盤No.1」



- 3 [OK]をクリックします。

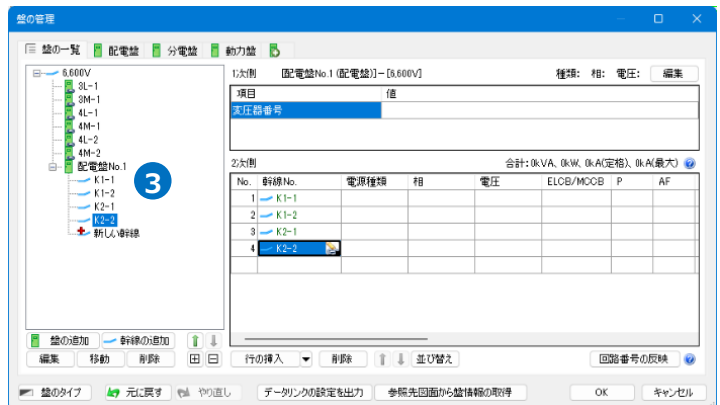
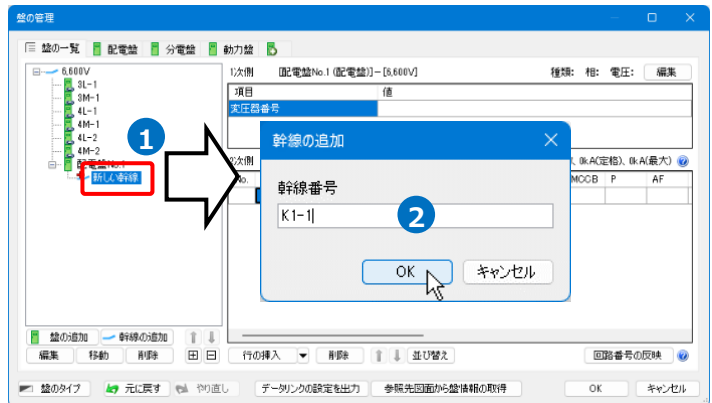


配電盤に幹線を追加

- 1 [盤の一覧]タブの[新しい幹線]をクリックします。
- 2 [幹線の追加]ダイアログで幹線番号「K1-1」を入力し、[OK]をクリックします。
- 3 同様に「K1-2」、「K2-1」、「K2-2」を追加します。

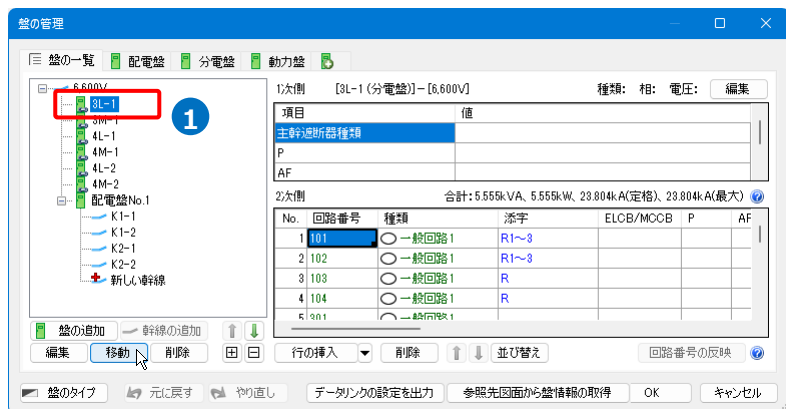
Memo

[幹線の追加]からも幹線番号を追加することができます。選択した幹線番号と同じ階層、もしくは、盤名称の下に新たに幹線番号を追加します。[盤のタイプ]で「幹線番号」の項目タイプを設定している盤に対して幹線番号を追加できます。([盤のタイプ]についてはp.4参照)



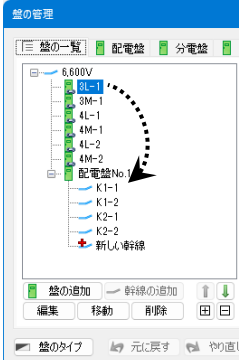
幹線に図面上の分電盤を接続

- 1 [盤の一覧]タブでツリーから分電盤名称「3L-1」を選択し、[移動]をクリックします。

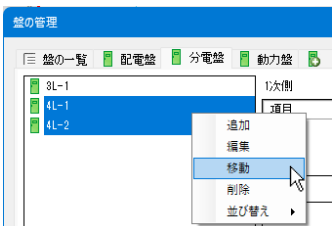
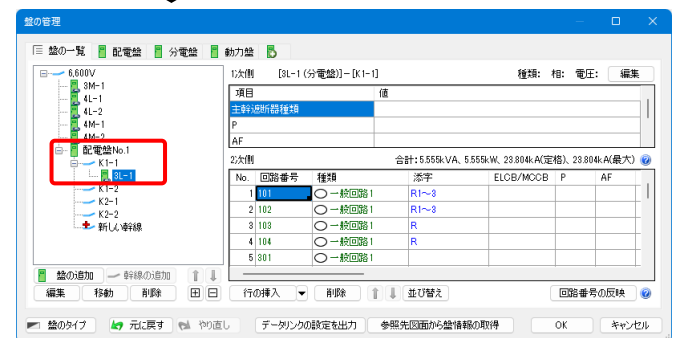
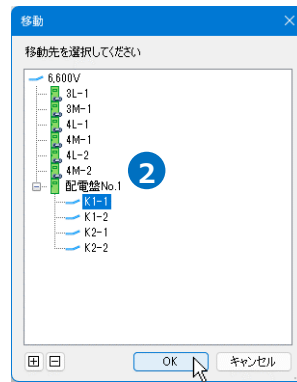


- 2 [移動]ダイアログで幹線番号「K1-1」を選択し、[OK]をクリックします。
 →選択した幹線番号の下に分電盤が移動します。

Memo
 盤名称を選択し、ドラッグで幹線番号を指定して移動することもできます。



[盤の分類]タブで選択した盤をまとめて移動できます。

- 3 同様に各分電盤を移動します。
 「3M-1」: 幹線番号「K1-2」
 「4L-1」、「4L-2」: 幹線番号「K2-1」
 「4M-1」、「4M-2」: 幹線番号「K2-2」



幹線に材料を設定

- 1 [盤の一覧]タブで「配電盤No.1」をクリックします。
→幹線番号ごとの負荷容量の合計を確認できます。

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	幹線種類	幹線太さ	互換	負荷名称	kVA	kW
1	K1-1								CVT	22			(5.55)	(5.55)
2									CVT	14		3L-1	5.555	5.555
3	K1-2												(42.89)	(34.31)
4												3M-1	42.89	34.31
5	K2-1												(5.589)	(5.589)
6												4L-1	2.584	2.584
7												4L-2	3.005	3.005
8	K2-2												(42.89)	(34.31)
9												4M-1	40.53	32.43
10												4M-2	2.36	1.88

- 2 [幹線種類]欄に材料、[幹線太さ]欄に太さを入力します。該当のセルをクリックし、手入力します。

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	幹線種類	幹線太さ	互換	負荷名称	kVA	kW
1	K1-1								CVT	22			(5.55)	(5.55)
2									CVT	14		3L-1	5.555	5.555
3	K1-2												(42.89)	(34.31)
4												3M-1	42.89	34.31
5	K2-1												(5.589)	(5.589)
6												4L-1	2.584	2.584
7												4L-2	3.005	3.005
8	K2-2												(42.89)	(34.31)
9												4M-1	40.53	32.43
10												4M-2	2.36	1.88

- 3 行を追加する場合は、[行の挿入]をクリックし、追加したい行数を指定します。
→選択している行の上に指定した行数分の空行が追加されます。

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	幹線種類	幹線太さ
1	K1-1								CVT	22
2									CVT	14
3	K1-2									
4										
5	K2-1									
6										
7										
8	K2-2									
9										
10										

行の挿入

追加する行数 | |

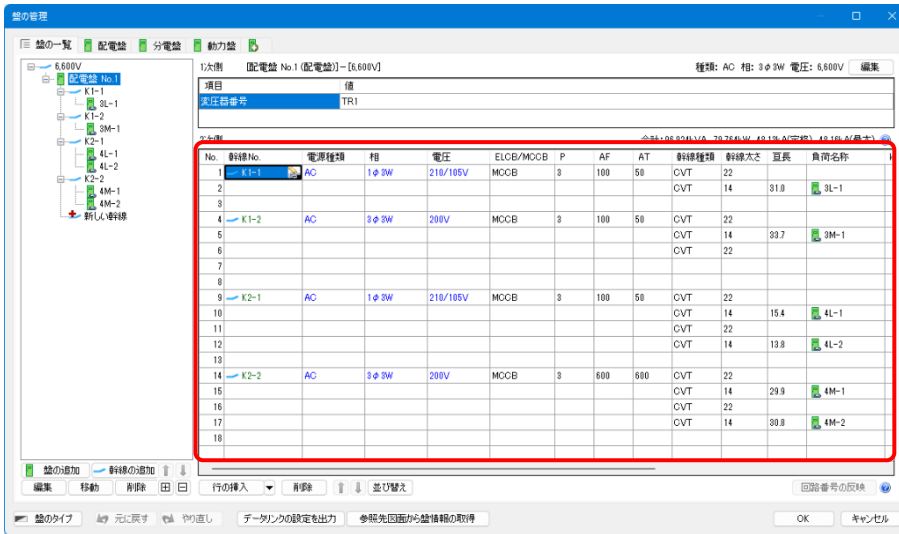
OK キャンセル

Memo
行の上で右クリックし、コンテキストメニューから[行の挿入]もできます。

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB
1	K1-1				
2					
3	K1-2				
4					
5	K2-1				
6					
7					
8	K2-2				
9					
10					

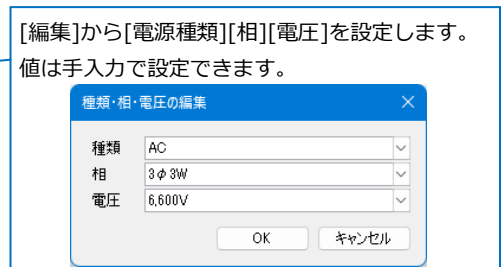
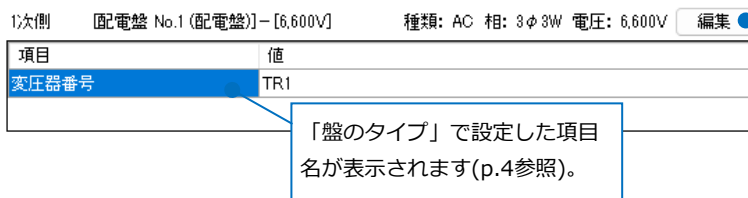
No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	幹線種類	幹線太さ
1	K1-1								CVT	22
2									CVT	14
3										
4	K1-2									
5										
6	K2-1									
7										
8										
9	K2-2									
10										
11										

帳票としての空行も追加することが可能です。

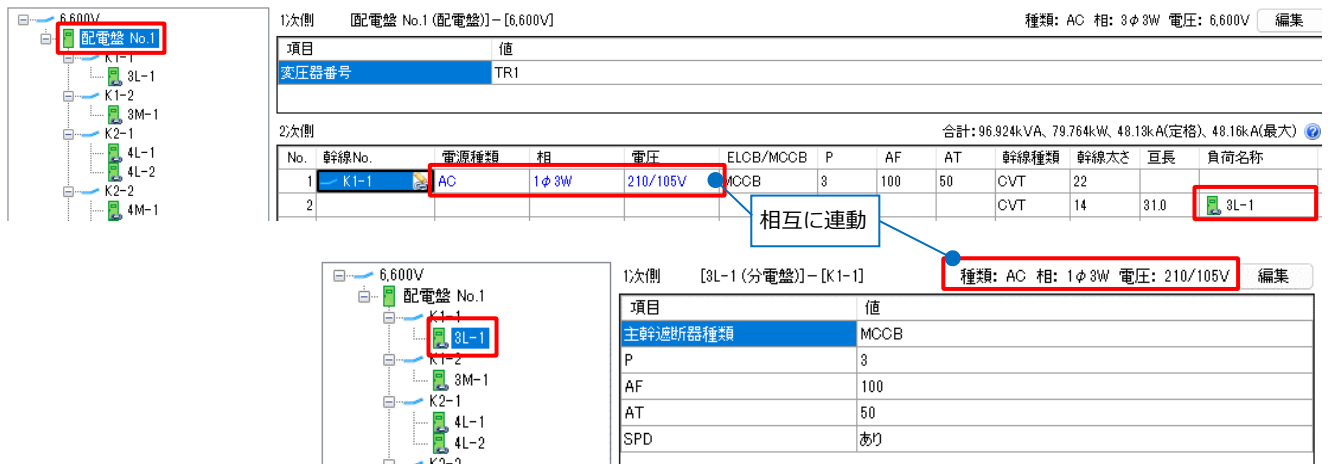


● 補足説明

1次側で盤の1次側情報を設定できます。



分電盤、動力盤の1次側[電源種類][相][電圧]は親の配電盤の2次側の項目とリンクしているため、入力した値が相互に連動します。



動力盤を分ける

動力盤に設定している一部の回路を別の盤に移動します。ここでは、図面上にない仮想の動力盤を作成し、移動します。

仮想の動力盤を追加

- 1 [盤の一覧]タブで幹線番号「K1-2」をクリックします。



- 2 [盤の追加]をクリックし、[盤の追加]ダイアログより分類と名称を入力します。

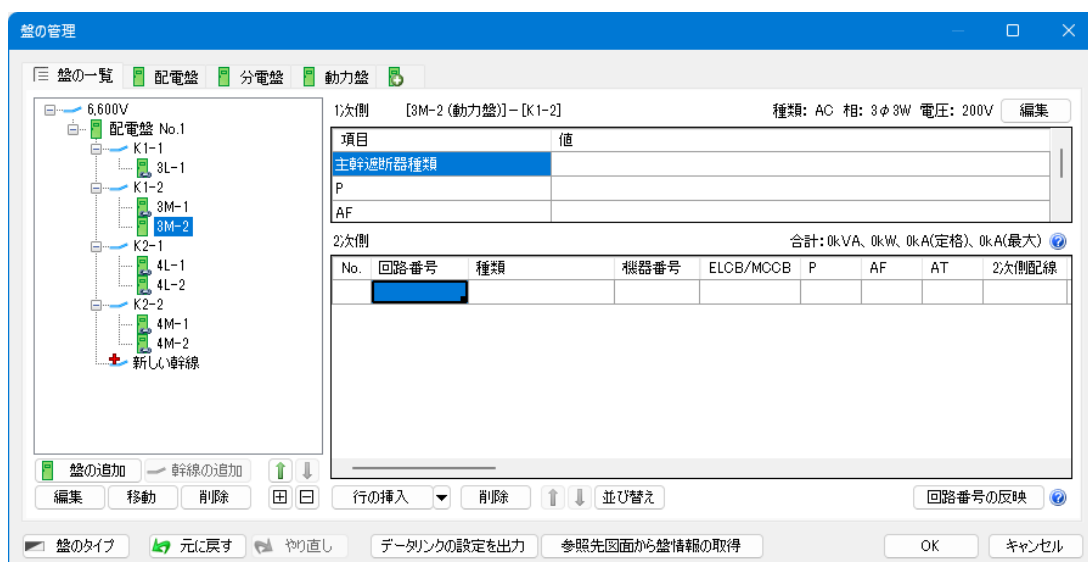
[盤の分類]: 「動力盤」

[盤名称]: 「3M-2」



- 3 [OK]をクリックします。

幹線番号「K1-2」の下に動力盤が追加されます。

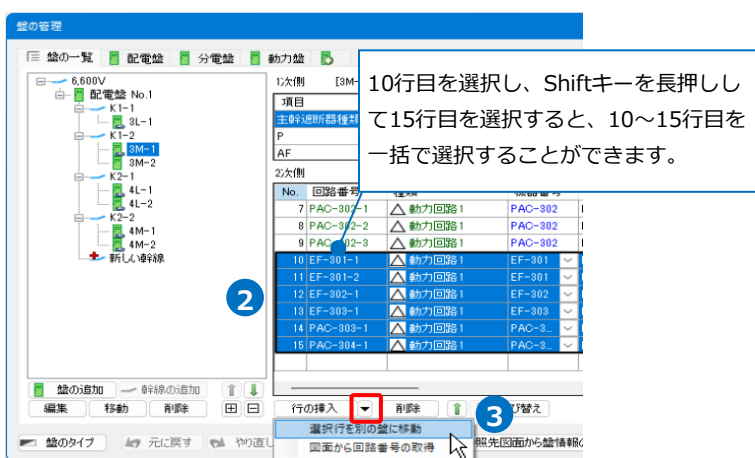


回路の移動

- 1 [盤の一覧]タブで盤名称「3M-1」をクリックします。



- 2 回路番号「EF-301-1」～「PAC-304-1」(10～15行目)を複数選択します



- 3 [行の挿入]横の[▼]-[選択行を別の盤に移動]をクリックします。

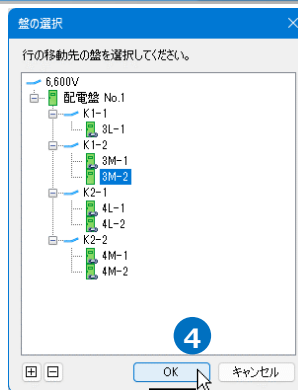
- 4 [盤の選択]ダイアログで移動先の盤を指定します。
「3M-2」を選択し、[OK]をクリックします。
→選択した回路が移動します。

Memo

行の上で右クリックし、コンテキストメニューから[選択行を別の盤に移動]もできます。

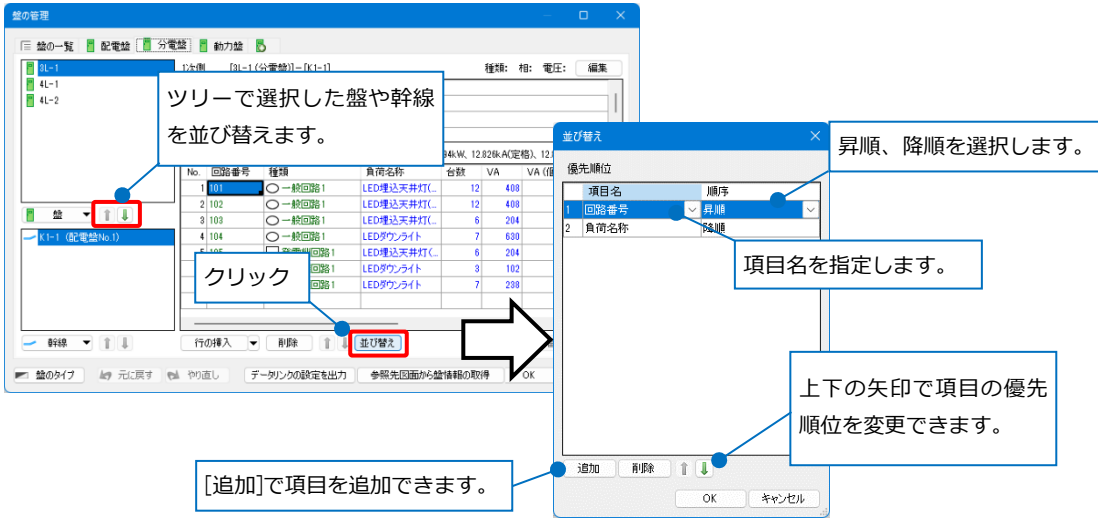
8	PAC-302-2	△ 動力回路1	PAC-302	MCCB
9	PAC-302-3	△ 動力回路1	PAC-302	MCCB
10	EF-301-1	△ 動力回路1	EF-301	MCCB
11	EF-301-2	△ 動力回路1	EF-301	MCCB
12	EF-302-1	△ 動力回路1	EF-302	MCCB
13	EF-303-1	△ 動力回路1	EF-303	MCCB
14	PAC-303-1	△ 動力回路1	PAC-303	MCCB
15	PAC-304-1	△ 動力回路1	PAC-304	MCCB

Context menu options: コピー (Ctrl+C), 貼り付け (Ctrl+V), 行の挿入, 削除 (Del), 選択行を別の盤に移動 (highlighted), 選択した盤を画面上で要素選択する



● 補足説明

[並び替え]で盤表の行を指定した条件で並び替えることができます。



回路番号が昇順の場合

項目名	順序
回路番号	昇順

No.	回路番号	種類	負荷名称	台数
1	101	○ 一般回路1	LED埋込天井灯...	12
2	102	○ 一般回路1	LED埋込天井灯...	12
3	103	○ 一般回路1	LED埋込天井灯...	6
4	104	○ 一般回路1	LEDダウンライト	7
5	105	□ 発電機回路1	LED埋込天井灯...	6
6	106	□ 発電機回路1	LEDダウンライト	3
7	107	□ 発電機回路1	LEDダウンライト	7

回路番号が降順の場合

項目名	順序
回路番号	降順

No.	回路番号	種類	負荷名称	台数
1	107	□ 発電機回路1	LEDダウンライト	7
2	106	□ 発電機回路1	LEDダウンライト	3
3	105	□ 発電機回路1	LED埋込天井灯...	6
4	104	○ 一般回路1	LEDダウンライト	7
5	103	○ 一般回路1	LED埋込天井灯...	6
6	102	○ 一般回路1	LED埋込天井灯...	12
7	101	○ 一般回路1		

回路番号が降順に並び変わります。

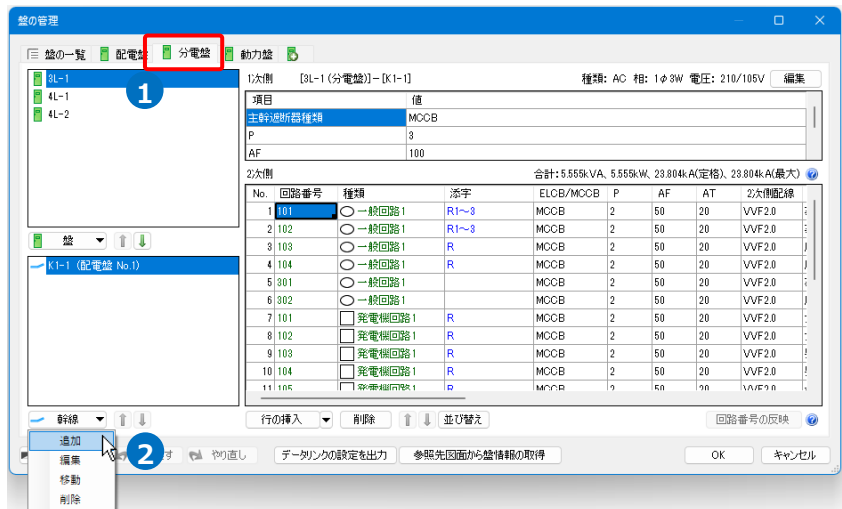
盤に複数の幹線を接続する

分電盤を2つの幹線に分けて接続します。ここでは、「3L-1」の分電盤に「K1-3」の幹線を追加し、回路を分けます。

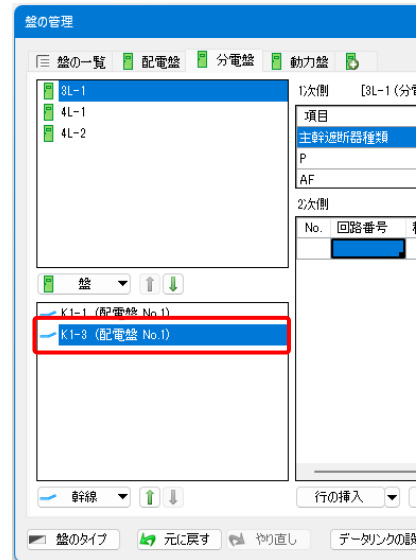
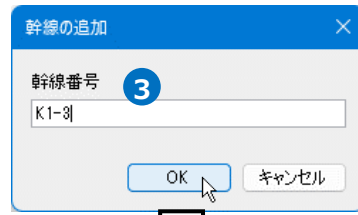
幹線を追加

① [分電盤]タブをクリックし、盤名称「3L-1」を選択します。

② [幹線]-[追加]をクリックします。

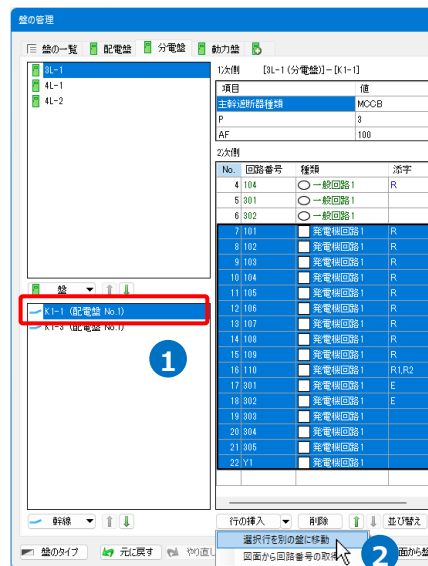


- 3 [幹線の追加]ダイアログで幹線番号を入力し、[OK]をクリックします。
→「3L-1」の盤に幹線番号が追加されます。

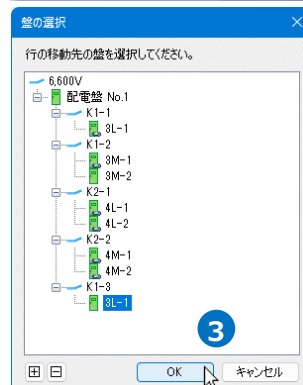


回路の移動

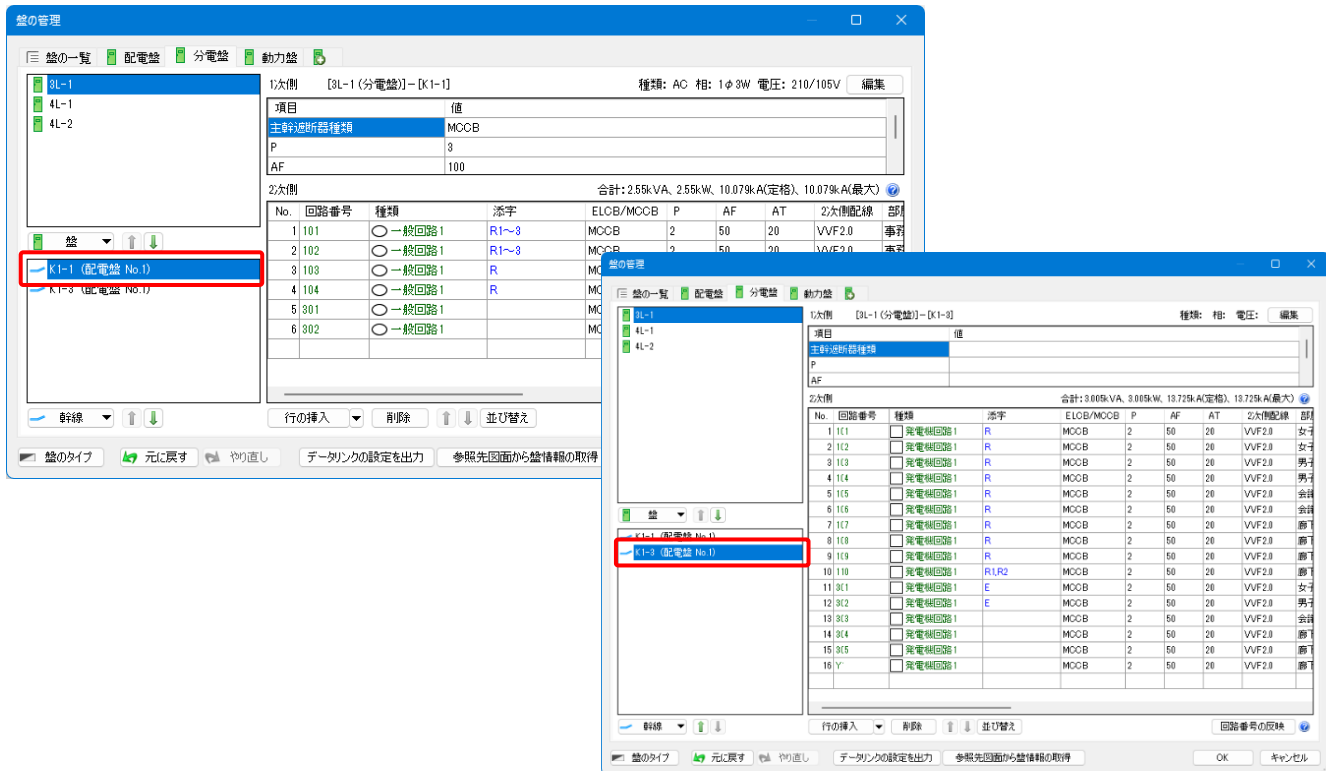
- 1 幹線番号「K1-1(配電盤No.1)」をクリックし、「発電機回路1」(7~22行目)を選択します。
- 2 [行の挿入]横の[▼]-[選択行を別の盤に移動]をクリックします。



- 3 [盤の選択]ダイアログで移動先の盤を指定します。
幹線番号「K1-3」に接続している「3L-1」を選択し、[OK]をクリックします。



選択した回路が移動します。



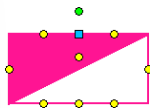
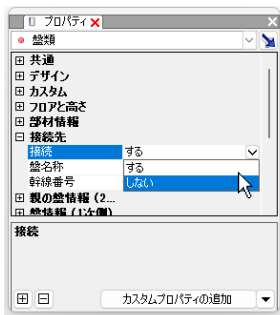
● 補足説明

仮想の盤から図面上の盤への回路の移動

仮想の盤を使用して[盤の管理]を設定後、図面上に盤を配置すると、[盤の一覧]タブにリンクされた盤が追加されます。仮想の盤の回路をリンクされた盤に移行する場合も、[行の挿入]横の[▼]-[選択行を別の盤に移動]で回路を移動することができます。

[盤の管理]に表示しない盤

複数面の盤など、[盤の管理]で非表示にしたい盤がある場合は、盤のプロパティ[接続先]-[接続]を「しない」に変更します。



回路番号の反映

[盤の管理]で修正した内容はダイアログを[OK]で閉じると、図面と[盤の管理]の情報が更新されます。

[盤の管理]の編集中に情報を更新する場合は、[回路番号の反映]をクリックします。

例えば、同じ名称の盤が複数あり、同じ回路番号の設定をしている時、情報を変更した盤以外の同じ名称の盤にも変更した値が反映できます。

例) 負荷容量の変更

①負荷容量を「40→50」に変更

②片方で数値を変更しても、もう片方の盤では変更した数値が反映されていません。

③クリック

④値が更新されます。

No.	回路番号	台数	kVA	VA (総計)	kW	W (総計)	備考
1	101	4	0	40	0	0	
2	102	2	0.06	40	0	0	
3	103						

例) 回路番号の変更

①回路番号を変更

②[はい]をクリックすると、図面上の該当の器具の回路番号を変更します。

③同じ盤名称、回路番号ですが、情報が更新されていません。

④クリック

⑤情報が更新されます。

No.	回路番号	台数	kVA	VA (総計)	kW	W (総計)	備考
1	104	4	0	40	0	0	
2	102	2	0.06	40	0	0	
3	106						

外部参照図面の盤情報の取得

外部参照図面に配置されている盤は、「未分類」の盤として[盤の管理]に表示されます。

参照先で[盤の管理]の設定をしている場合、[参照先図面から盤情報の取得]より盤情報を取得できます。

参照先の「盤の分類」は「未分類」になります。盤ごとに[編集]で分類の変更ができます。

参照先の盤を「未分類」のまま変更していない場合は、チェックを入れます。

外部参照図面で設定した[盤の管理]の情報が反映されます。

Memo

参照先と参照元で「盤の分類」と「盤のタイプ」が同じ組み合わせの盤の情報を読み込みます。

参照元でない「盤のタイプ」が設定された盤や、参照先と参照元で同じ名称の「盤の分類」で、「盤のタイプ」が異なる盤の情報は読み込みません。

No.	回路番号	種類	機器番号	ELOB/MCCB	P	AF	AT	2次側配線	部屋名
1	HEX-301-1	△ 動力回路1	HEX-301	MCCB	3	50	20	CV3.5	事務所
2	HEX-301-2	△ 動力回路1	HEX-301	MCCB	3	50	20	CV3.5	事務所
3	HEX-301-3	△ 動力回路1	HEX-301	MCCB	3	50	20	CV3.5	事務所
4	PAC-301-1	△ 動力回路1	PAC-301	MCCB	3	100	100	CV3.5	事務所
5	PAC-301-2	△ 動力回路1	PAC-301	MCCB	3	100	100	CV3.5	事務所
6	PAC-301-3	△ 動力回路1	PAC-301	MCCB					
7	PAC-302-1	△ 動力回路1	PAC-302	MCCB					
8	PAC-302-2	△ 動力回路1	PAC-302	MCCB					
9	PAC-302-3	△ 動力回路1	PAC-302	MCCB					

外部参照の詳細については、テクニカルガイド「[外部参照](#)」をご覧ください。

● 補足説明

[参照先図面から盤情報の取得]で[盤の分類]が異なる場合、[分類を変更する]のチェックが外れていると、参照元でない「盤の分類」が設定された盤や、参照元と参照先で盤名称が同じで「盤の分類」が異なる盤の情報は読み込みません。

チェックを入れると、参照先の「盤の分類」が参照元になく、「盤のタイプ」がある場合、「盤の分類」を作成します。また、参照先と参照元で盤名称が同じで、下記条件に当てはまると参照先の情報に変更されます。

- ・参照先と参照元で「盤の分類」「盤のタイプ」がどちらも異なる場合
- ・参照先と参照元で「盤の分類」が異なり、「盤のタイプ」が同じ場合

2. 盤図の出力

盤図の出力は、[盤の管理]-[データリンクの設定を出力]または、[データリンク]コマンドで、盤の種類ごとに [盤の管理]の内容を盤図として図面に貼り付けすることができます。

配電盤

No.	回路番号	電圧	電流	ELCB/MCCB	P	AF	AT	制御機器	設備名	負荷名	KVA	kW	IΔ (最大)
1	K1-0	AC	1φ 3W	MCCB	3	100	50	DVT			(2.50)	(2.55)	(10.070)
2													
3													
4	K1-1	AC	3φ 3W	200V									
5													
6													
7													
8													
9	K1-2	3φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT			(2.50)	(2.55)	(10.070)
10													
11													

分電盤

No.	回路番号	種類	電圧	電流	ELCB/MCCB	P	AF	AT	SPD	制御機器	設備名	負荷名	台数	VA	IΔ (最大)
1	R1-0	分電盤	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
2	R1-1	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
3	R1-2	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
4	R1-3	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
5	R1-4	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
6	R1-5	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
7	R1-6	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
8	R1-7	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
9	R1-8	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
10	R1-9	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
11	R1-10	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
12	R1-11	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
13	R1-12	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
14	R1-13	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
15	R1-14	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
16	R1-15	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
17	R1-16	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
18	R1-17	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
19	R1-18	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
20	R1-19	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
21	R1-20	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
22	R1-21	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
23	R1-22	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
24	R1-23	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
25	R1-24	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
26	R1-25	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
27	R1-26	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
28	R1-27	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
29	R1-28	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
30	R1-29	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
31	R1-30	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
32	R1-31	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
33	R1-32	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
34	R1-33	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
35	R1-34	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
36	R1-35	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
37	R1-36	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
38	R1-37	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
39	R1-38	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
40	R1-39	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
41	R1-40	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
42	R1-41	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
43	R1-42	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
44	R1-43	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
45	R1-44	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
46	R1-45	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
47	R1-46	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
48	R1-47	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
49	R1-48	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
50	R1-49	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
51	R1-50	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
52	R1-51	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
53	R1-52	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
54	R1-53	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
55	R1-54	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
56	R1-55	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
57	R1-56	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
58	R1-57	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
59	R1-58	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
60	R1-59	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
61	R1-60	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
62	R1-61	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
63	R1-62	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
64	R1-63	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
65	R1-64	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
66	R1-65	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
67	R1-66	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
68	R1-67	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
69	R1-68	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
70	R1-69	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
71	R1-70	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
72	R1-71	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
73	R1-72	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
74	R1-73	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
75	R1-74	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
76	R1-75	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
77	R1-76	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
78	R1-77	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
79	R1-78	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
80	R1-79	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
81	R1-80	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
82	R1-81	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
83	R1-82	照明	AC	1φ 3W	210/110V	MCCB	3	100	50	DVT					
84	R1-83	照明	AC	1φ 3W	210/110V										

[盤の管理]から出力

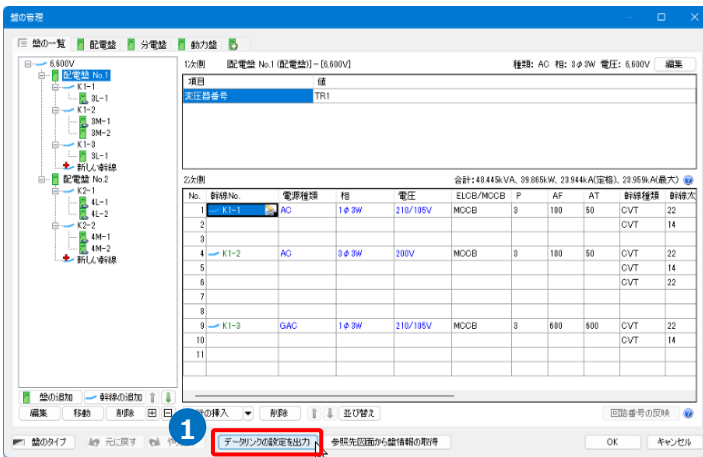
図面で設定した[盤の管理]の情報を、盤のタイプごとにExcel出力するためのデータリンクの設定を自動生成します。表として貼り付けることで、レブロの[盤の管理]とリンクします。

作成するファイルは、一つの盤のタイプごとになります。

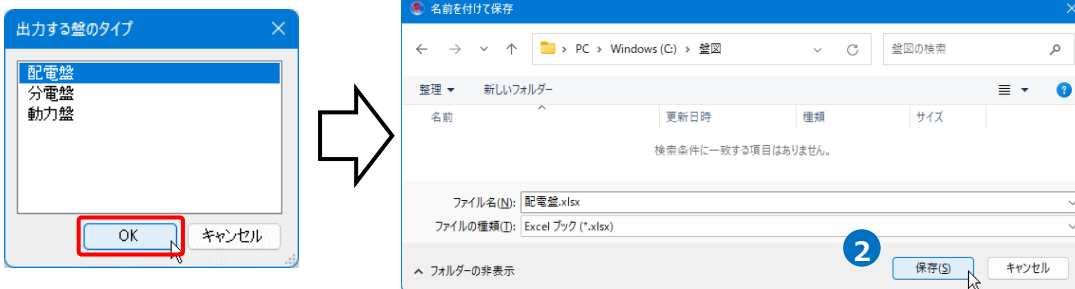
サンプル図面「サンプル事務所(盤図の出力).reb」を開きます。図面には、[盤の管理]に盤の情報が入力されています。

1 [電気]タブ-[盤の管理]を選択します。

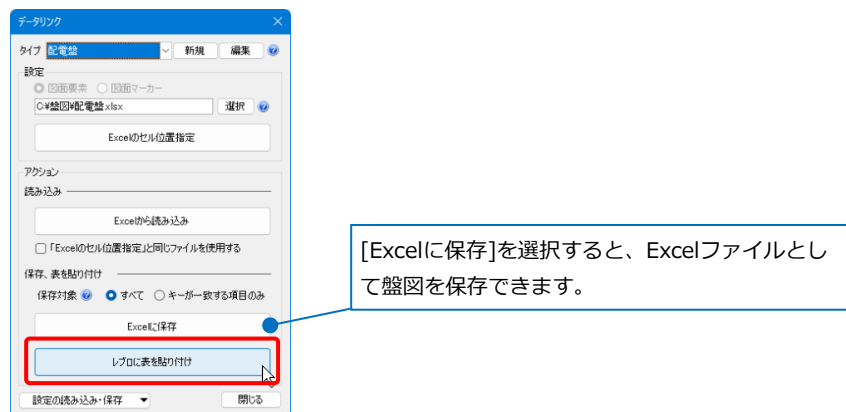
[盤の管理]ダイアログの[データリンクの設定を出力]をクリックします。



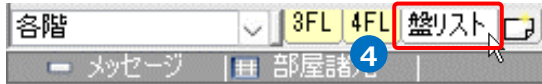
2 [出力する盤のタイプ]ダイアログで盤のタイプを選択し、[OK]をクリックします。データリンクで使用する盤図のフォーマットが入ったExcelファイルが自動で作成されるため、保存先を選択して[保存]をクリックします。



3 「データリンクの設定」が自動で作成され、[データリンク]ダイアログが開きます。[レブロに表を貼り付け]をクリックします。



- 4 レイアウトを「盤リスト」に切り3えます。



- 5 表を貼り付ける位置でクリックします。

Excel側の設定を基に、[盤の管理]の情報を出力した表を図面に貼り付けます。

Memo

複数のシートが出力された場合、貼り付けたいシートを選択することができます。

配置後は、表のプロパティで貼り付けたシートを他のシートに変更することができます。

盤の種類と表の背景色、シートの選択ができます。

[データリンク]から出力

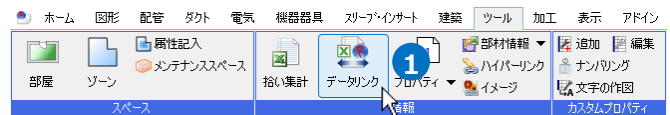
盤図のフォーマットをExcelで用意し、図面で設定した[盤の管理]の情報を図面上の「表」として貼り付けます。表として貼り付けることで、レボロの[盤の管理]とリンクします。

サンプル図面「サンプル事務所(盤図の出力).reb」を開きます。図面には、[盤の管理]に盤の情報が入力されています。

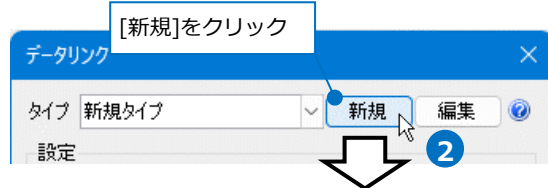
レボロ要素とExcelファイルの関連付けの設定

キーの設定

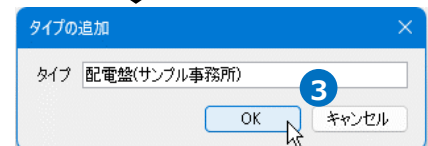
- 1 [ツール]タブ-[データリンク]をクリックします。



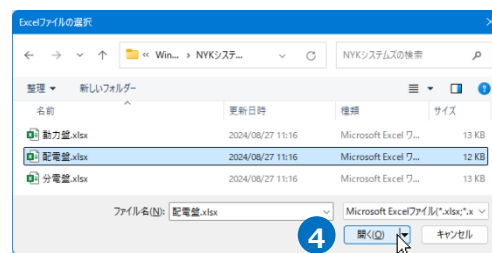
- 2 [データリンク]ダイアログが開きます。タイプの[新規]をクリックします。



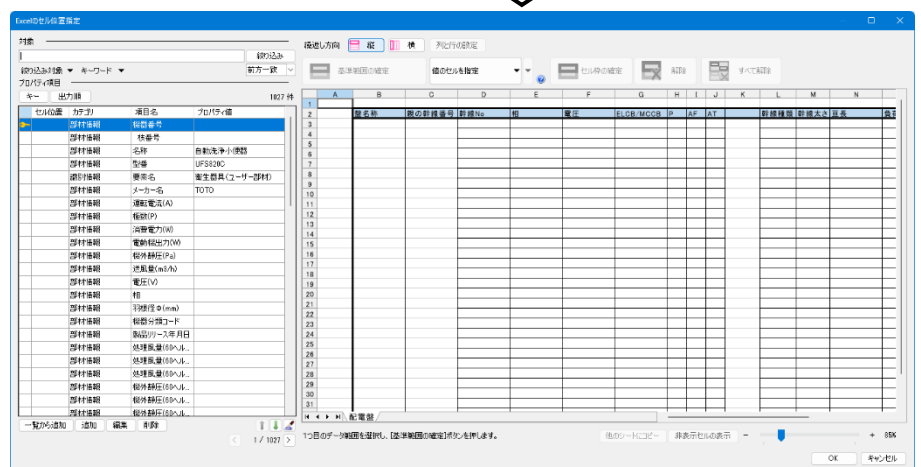
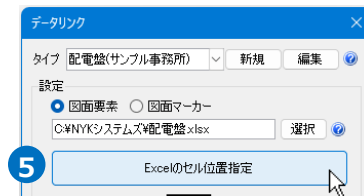
- 3 [タイプの追加]ダイアログが開きます。タイプ名を入力し、[OK]をクリックします。



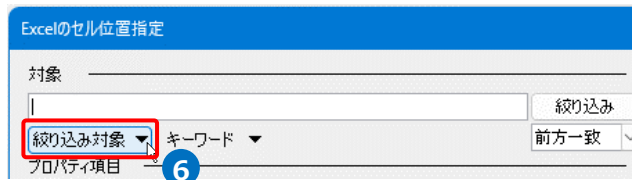
- 4 [Excelファイルの選択]ダイアログが開きます。データを読み込むExcelファイル「配電盤.xlsx」を選択し、[開く]をクリックします。



- 5 [Excelのセル位置指定]をクリックします。[Excelのセル位置指定]ダイアログが開き、選択したExcelファイルの内容が表示されます。



- 6 表として値を出力する対象要素を盤に絞り込みます。
[絞り込み対象]をクリックします。



- 7 [絞り込み対象]から、[レイヤー]タブの[電気]-[幹線]、[要素(検索)]タブの[機器・器具]-[盤類]にチェックを入れます。



- 8 [絞り込み]をクリックします。

部材検索が実行され、絞り込み対象と合致した部材が検索結果に表示されます。リストに表示された部材がデータリンクの対象となります。

Memo
[盤の管理]で追加した仮想の盤のみの図面では、台数は「0台」となります。

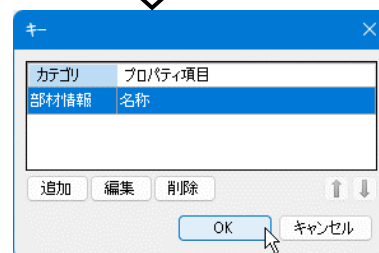
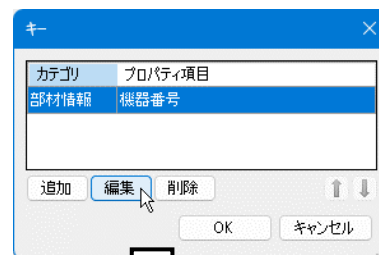


- 9 [キー]をクリックし、[キー]ダイアログでレブロの分電盤の情報とExcelファイルを紐づけるプロパティ項目を選択します。

[カテゴリ]：部材情報
[プロパティ項目]：名称

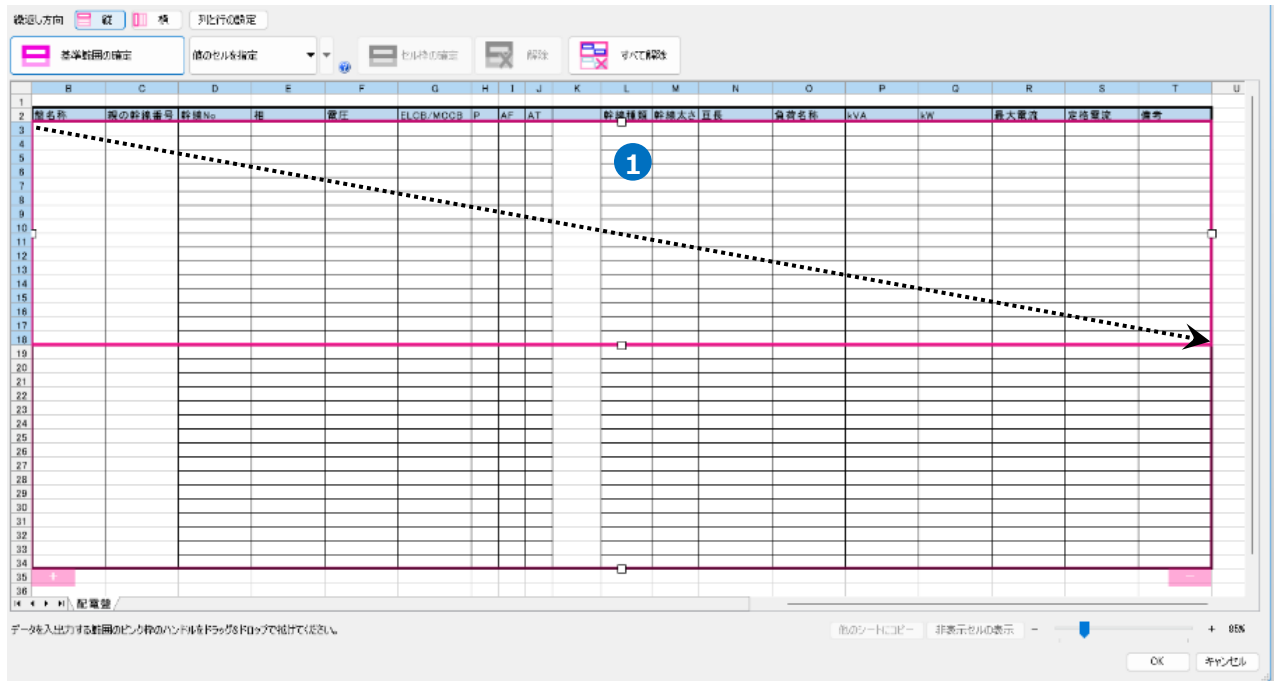
※盤名称と紐づけるため、必ず[部材情報]-[名称]を指定します。

Memo
キーに設定したプロパティ項目は、[プロパティ項目]の左端の列に[🔑]が表示されます。

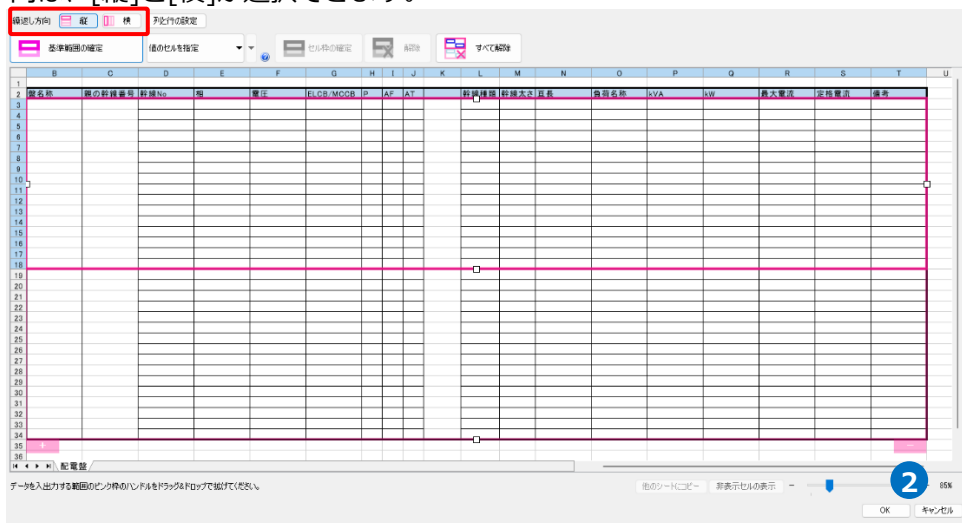


読み込む範囲の設定

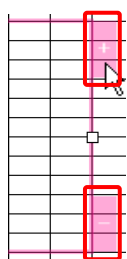
- Excel欄で1つ目の盤のデータに該当する範囲(B3~T18)を選択し、[基準範囲の確定]をクリックします。基準となる範囲 (濃いピンク色の枠)が確定します。



- 1シート分に出力したいデータの繰り返し範囲(薄いピンク色の枠)をハンドルで指定します。繰り返し方向は、[縦]と[横]が選択できます。



Memo



連続していない位置に表の続きがある場合は、「+」をクリックすると、離れた位置に範囲を指定することができます。

「-」をクリックすると繰り返し範囲を削除できます。

- 補足説明

[Excelのセル位置指定]で指定した基準となる範囲に、[盤の管理]で設定した盤1つ分の値が出力されます。そのため、盤1つ分の情報が入るようにExcelの行数を指定します。

盤のタイプごとに出力するため、同じタイプの盤の中で一番行数の多いものに合わせると、各盤の情報が1シート内に収まります。

※負荷容量の合計や余白を出力する際は、設定した行数分必要になります。(p.30参照)

盤1つ分の情報が基準範囲に入りきらなかった場合は、2つ目の範囲に続けて情報が出力されます。

次の盤の情報は、3つ目の範囲から開始されます。

セルにプロパティ項目を割り当て

既存の項目を割り当て

- 1 盤名称を出力するセルを指定します。
セルの指定方法は、「値のセルを指定」を指定します。



- 2 [プロパティ項目]でレプロの要素と関連付ける項目の行をクリックし、[セル位置]列のスポイトアイコンをクリックします。

プロパティ項目

キー 出力順 6件

セル位置	カテゴリ	項目名	プロパティ値
	部材情報	機器番号	
	部材情報	枝番号	
	部材情報	名称	4L-2
	部材情報	型番	

[カテゴリ] : 部材情報
[プロパティ項目] : 名称

- 3 盤名称を出力するセル(B3)をクリックします。
→基準範囲内の選択したセルが青色枠で囲われます。
※繰り返し範囲を指定した場合は、相対位置が同じセルが水色枠で囲われます。

	A	B	C	D
1				
2		盤名称	親の幹線番号	幹線No
3				
4				

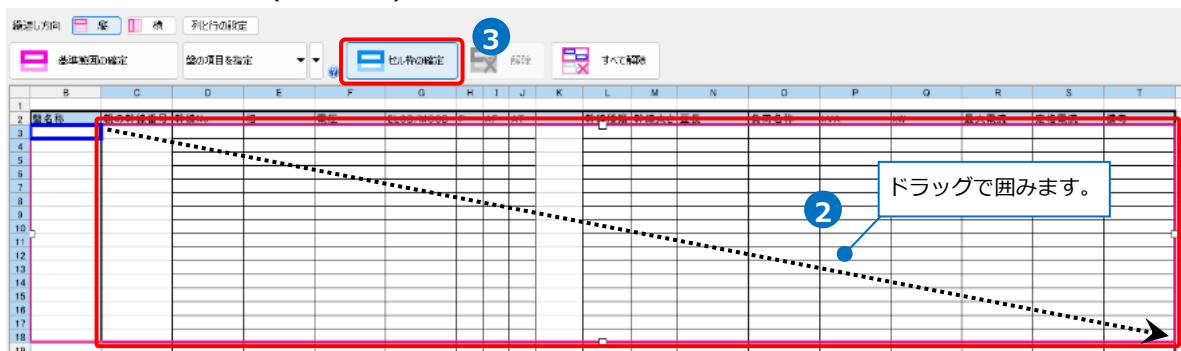
	B	C	D
1			
2		盤名称	親の幹線番号
3			
4			

盤の項目を割り当て

- 1 [盤の管理]の情報を入力します。
セルの指定方法は、「盤の項目を指定」を選択します。



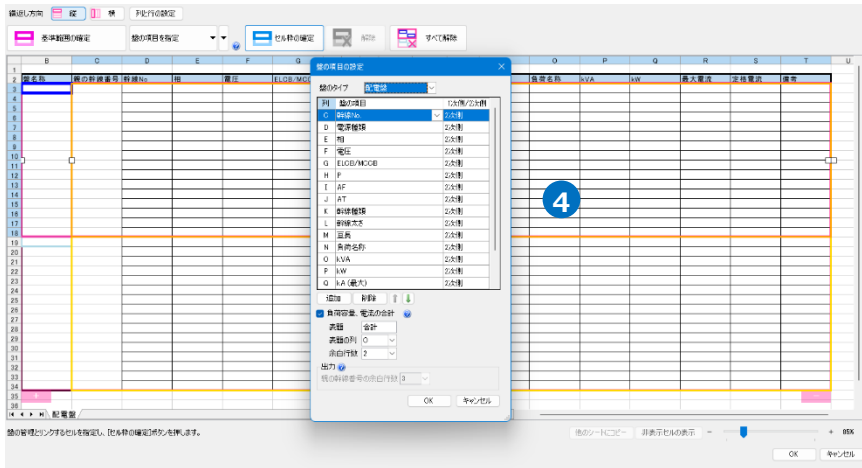
- 2 情報を入力したい範囲(C3~T18)を選択します。



- 3 [セル枠の確定]をクリックします。

4 選択したセル枠が橙色で囲まれ、[盤の項目の設定]ダイアログが表示されます。

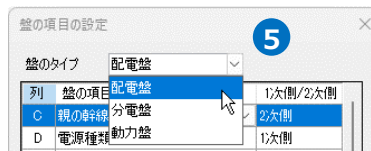
※繰り返し範囲を指定した場合は、相対位置が同じ範囲のセルが黄色枠で囲われます。



5 盤の項目を設定します。

盤図として出力したい盤に割り当てられた[盤のタイプ]を選択します。(「盤のタイプ」についてはp.4参照)

ここでは、「配電盤」を選択します。



6 列ごとにリンクする項目をプルダウンから選択します。

[負荷容量、電流の合計]にチェックを入れると、盤に対する負荷容量、電流の合計値を出力することができます。

7 設定が完了したら[OK]をクリックして、[盤の項目の設定]ダイアログを閉じます。

チェックを入れると、盤の負荷容量、電流の合計値を出力します。(p.30参照)。ここではチェックを外します。

合計: 48.44kVA, 39.86kW, 23.94kA(定格), 23.95kA(最大)

負荷名称	kVA	kW	kA (最大)	kA (最大)	回路番号
3L-1	(2.55)	(2.55)	(10.079)	(10.079)	
	2.55	2.55	10.079	10.079	
3M-1	(42.89)	(34.31)	(0.156)	(0.14)	
	40.53	32.43	0.147	0.132	
	(2.36)	(1.88)	(0.008)	(0.008)	
3M-2	2.36	1.88	0.008	0.008	
3L-1	(3.005)	(3.005)	(13.725)	(13.725)	
	3.005	3.005	13.725	13.725	



[盤のタイプ]で設定した項目タイプのタイトルから選択します。
項目タイプ「幹線番号」を設定した盤のタイプの場合、「幹線番号」「負荷名称」の選択が必須です。

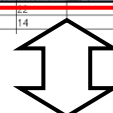
Memo

[盤の項目の設定]ダイアログで指定した「盤のタイプ」が項目タイプ「回路の種類」をもつ場合「回路番号(記号付き)」を定義すると、「回路の種類」の記号で回路番号が表示されます。([レブロに表を貼り付け]のみ)

列	盤の項目	1次側/2次側	回路番号
L	回路番号(記号付き)	2次側	(101)
M	負荷名称	1次側	(102)
			(103)

幹線名称	親の幹線番号	幹線No.	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	幹線種類	幹線太さ	互長	負荷名称	kVA	kW	最大電流	定積電流	備考
配電盤 No.1									CVT	14		3L-1	2.55	2.55	10.079	10.079	

No.	幹線No.	電源種類	相	電圧	ELCB/MCCB	P	AF	AT	幹線種類	幹線太さ	互長	負荷名称	kVA	kW	kA (最大)	A (最大)(個別)	kA (定格)	A (定格)(個別)	備考
2									CVT	14	31.0	3L-1	2.55	2.55	10.079		10.079		



Memo

[盤のタイプ]で設定した項目タイプの他に「親の幹線番号」を選択することができます。盤名称ごと、親の幹線番号ごとに出力することができます。

盤の項目の設定

列	盤の項目	1次側/2次側
C	親の幹線番号	2次側
D	なし	

盤の一覧

- 3L-1
- 4L-1
- 4L-2

項目

主幹/逆幹

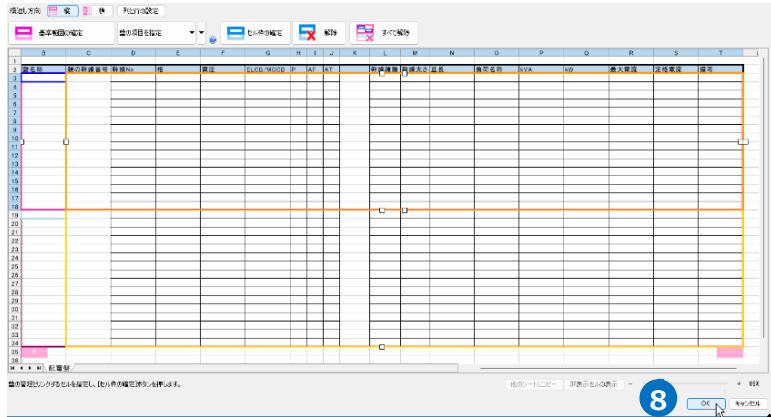
P

盤

- K1-1 (配電盤 No.1)
- K1-3 (配電盤 No.1)

盤名称	親の幹線番号	回路番号	添字	ELCB/A
3L-1	K1-1	101	R1~3	MCCB
		102	R1~3	MCCB
		103	R	MCCB
		104	R	MCCB
		301		MCCB
302		MCCB		
K1-3		101	R	MCCB
		102	R	MCCB
		103	R	MCCB
		104	R	MCCB

8 セル枠をすべて設定後、[OK]をクリックします。



[データリンク]ダイアログに戻ります。

Memo

再度出力する対象の要素を絞り込む場合は、[Excelのセル位置指定]で「盤の項目を指定」のセルを[解除]します。

盤の項目を指定

セル枠の確定

解除

設定した内容を変更する場合は、「盤の項目を指定」横の[▼]から[盤の項目の設定]で変更することができます。

盤の項目を指定

▼

▼

盤の項目の設定

データリンク

タイプ 配電盤(サンプル事務所) 新規 編集

設定

図面要素 図面マーカー

C:\NNYKシステムズ\配電盤.xlsx 選択

Excelのセル位置指定

アクション

読み込み

Excelから読み込み

「Excelのセル位置指定」と同じファイルを使用する

保存、表を貼り付け

保存対象 すべて キーが一致する項目のみ

Excelに保存

レプロに表を貼り付け

設定の読み込み・保存 閉じる

● 補足説明

負荷容量の合計と親の幹線番号の余白行数

[負荷容量、電流の合計]にチェックを入れると、盤ごとの負荷容量、電流の合計値を表に出力することができます。([盤の項目]で「親の幹線番号」を指定した時は、幹線番号ごとに出力することができます。)

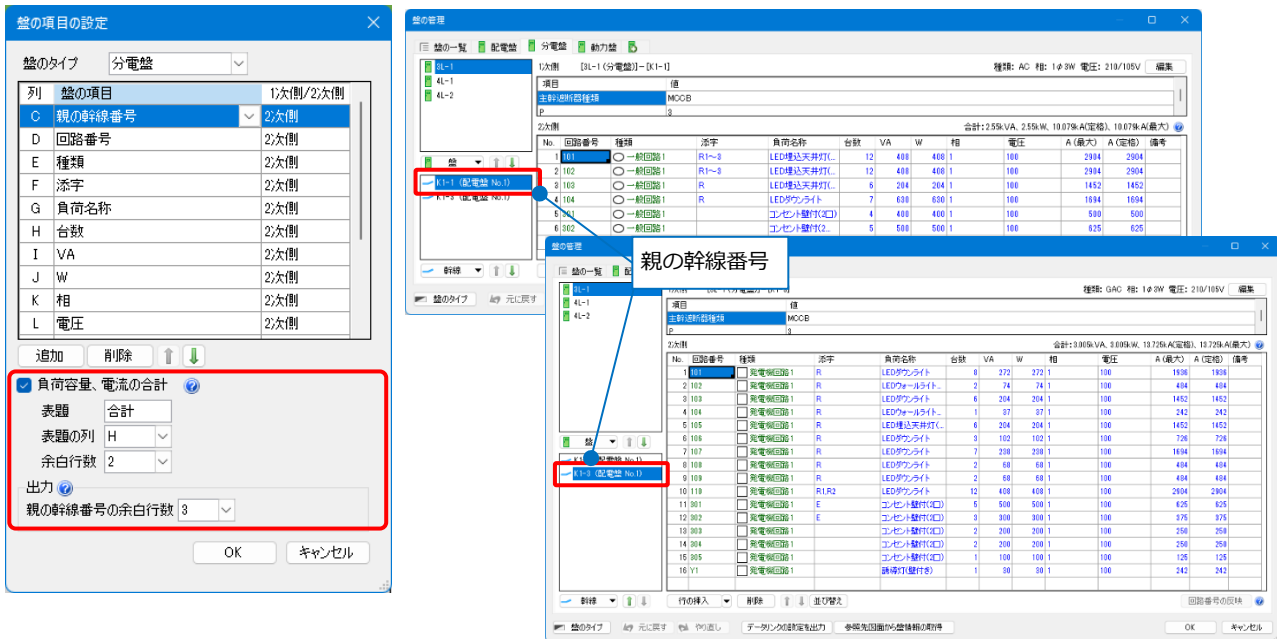
[表題]：合計値を出力する際のタイトルを設定することができます。

[表題の列]：[表題]で設定したタイトルを出力する列を指定します。

[余白行数]：1つ目の情報から指定した行数分の空白行を作って合計値を出力します。

[親の幹線番号の余白行数]は、[盤の項目の設定]で「親の幹線番号」を指定した時に設定します。

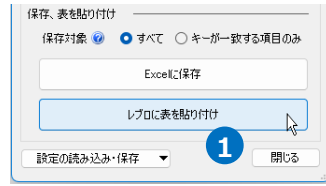
2つ目の幹線の情報を出力する際に、1つ目の情報の後に指定した余白行数分の空白行を作って出力します。



盤名称	親の幹線番号	回路番号	種類	添字	負荷名称	台数	VA	W	相	電圧	A (最大)	A (定格)	備考	
3L-1	K1-1	101	一般回路1	R1~3	LED埋込天井灯	12	408	408	1	100	2904	2904		
		102	一般回路1	R1~3	LED埋込天井灯	12	408	408	1	100	2904	2904		
		103	一般回路1	R	LED埋込天井灯	6	204	204	1	100	1452	1452		
						LEDダウンライト	7	630	630	1	100	1694	1694	
						コンセント壁付	4	400	400	1	100	500	500	
						コンセント壁付	1	500	500	1	100	625	625	
				合計		2550	2550			10079	10079			
3L-1	K1-3	101	発電機回路1	R	LEDダウンライト	8	272	272	1	100	1936	1936		
		102	発電機回路1	R	LEDウォールラ	2	74	74	1	100	484	484		
		103	発電機回路1	R	LEDダウンライト	6	204	204	1	100	1452	1452		
		104	発電機回路1	R	LEDウォールラ	1	37	37	1	100	242	242		
		105	発電機回路1	R	LED埋込天井灯	6	204	204	1	100	1452	1452		
		106	発電機回路1	R	LEDダウンライト	3	102	102	1	100	726	726		
		107	発電機回路1	R	LEDダウンライト	7	238	238	1	100	1694	1694		
		108	発電機回路1	R	LEDダウンライト	2	68	68	1	100	484	484		
		109	発電機回路1	R	LEDダウンライト	2	68	68	1	100	484	484		
		110	発電機回路1	R1,R2	LEDダウンライト	12	408	408	1	100	2904	2904		
		301	発電機回路1	E	コンセント壁付	5	500	500	1	100	625	625		
		302	発電機回路1	E	コンセント壁付	3	300	300	1	100	375	375		
		303	発電機回路1	E	コンセント壁付	2	200	200	1	100	250	250		
		304	発電機回路1	E	コンセント壁付	2	200	200	1	100	250	250		
				Y1	誘導灯(壁付)	30			1					
				合計		3005	3005			13725	13725			

レプロに表を貼り付け

- ① [データリンク]ダイアログの[レプロに表を貼り付け]をクリックします。



- ② レイアウトを「盤リスト」に切り替えます。



- ③ 表を貼り付ける位置でクリックします。

Excel側の設定を基に、[盤の管理]の情報を出力した表を図面に貼り付けます。

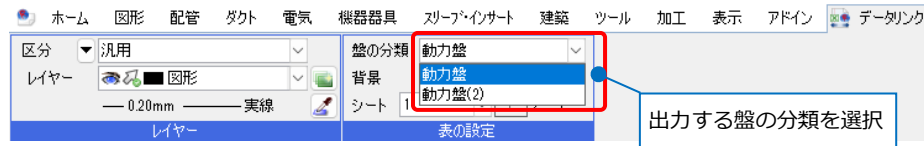
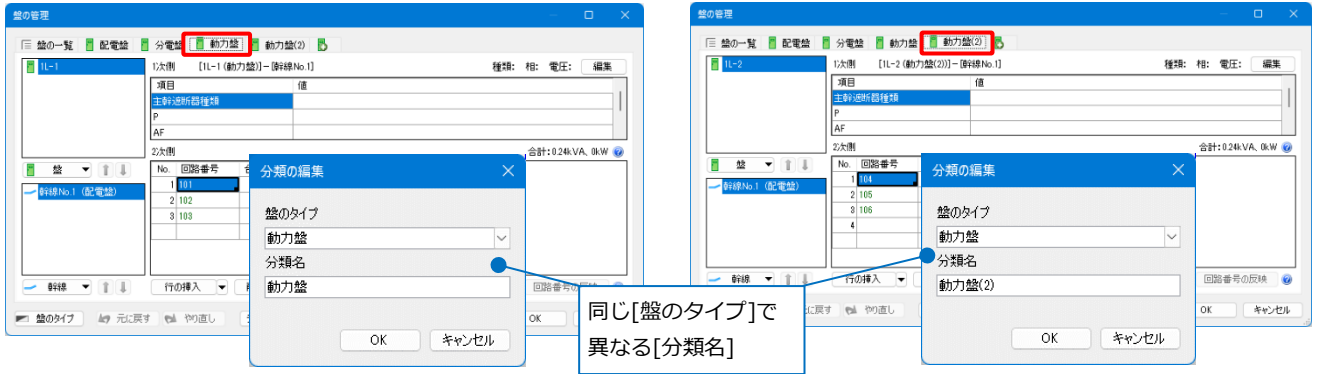
回路番号	回路名称	種類	電圧	回路容量	回路電流	回路電圧	回路電流	回路電圧	回路電流	回路電圧	回路電流	回路電圧	回路電流	回路電圧	回路電流
11-1	C11	0.2kV	0.2kV	W004	1	000	EV1	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170
							EV2	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170
							EV3	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170
							EV4	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170
							EV5	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170
11-2	C21	0.2kV	0.2kV	W004	2	000	EV1	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170
							EV2	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170
							EV3	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170
							EV4	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170
							EV5	1.20	1.25	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170	0.170

図面に貼り付けた表は、[盤の管理]と連動します。
表の値を変更すると、[盤の管理]の値も変更されます。
(p.32~33参照)

● 補足説明

盤の分類ごとに表として出力します。

同じ盤のタイプで複数の盤の分類がある場合、盤の分類を選択して、図面に表として貼り付けします。



[データリンク]で[Excelに保存]をすると、分類ごとにシートを分けてExcelファイルを保存します。

※データリンクの詳細については、テクニカルガイド「[データリンク\(概要編\)](#)」、「[データリンク\(操作編\)](#)」をご覧ください。

(参考)表の更新

[盤の管理]と[データリンク]で貼り付けた表はリンクします。

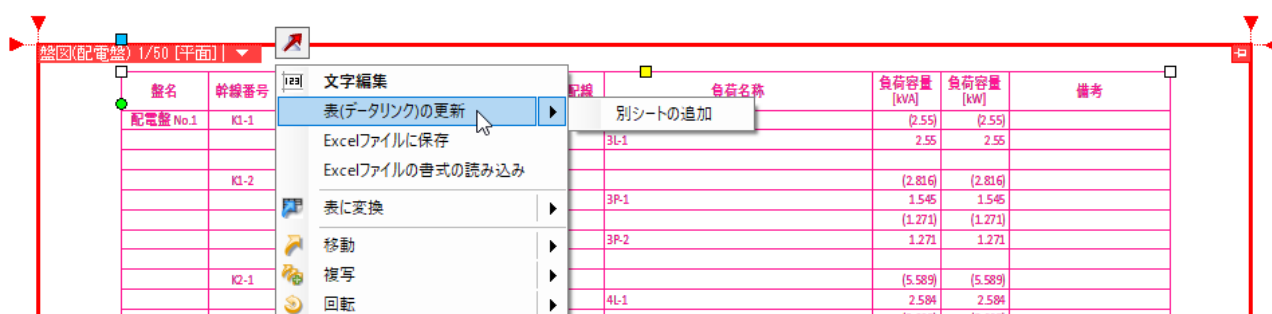
[盤の管理]で値が変われば、貼り付けた表の情報が変わり、表の[文字編集]を行うと[盤の管理]の項目の値が更新されます。※p.33対応表参照

表の値を変更した時の[盤の管理]の値は、p.5～6「項目タイプ」の各タイプで手入力した時と基本的には同じです。そのため、手入力に対応していない「台数」や入力できる文字が制限されている項目については、表の[文字編集]でも制限があります。

データリンクのキーとなる「盤名称」と「親の幹線番号」は表で編集することはできません。

※1次側の盤の情報は、すべて表の編集で変更した内容が[盤の管理]に反映されます。

[盤の管理]で表に出力する盤の増減があった場合は、貼り付けた表のコンテキストメニューから[表(データリンク)の更新]をします。



表を編集した時の[盤の管理]の対応((※)のある項目は入力できる文字に制限があります。)

項目タイプ	表の編集	図面上の器具に反映	制限事項や[盤の管理]で編集した時との違い
自由文字列	○	×	
幹線番号[キー]	○	×	変更前の幹線番号は、[盤の一覧]タブのツリー上で一番親の幹線番号と同階層に移動します。
回路の種類[キー]	○(※)	○	図面の[回路の種類]と同じ名称のみ入力できます。
回路番号[キー]	○	○	
回路番号の添字(個別)[キー]			
回路番号の添字(結合)	×	×	
機器番号	○	×	[盤の管理]ダイアログ上のみ変更します。
負荷名称	○	×	[盤のタイプ]で項目タイプ「幹線番号」を設定した盤については、変更前の名称の盤は、ツリー上で一番親の幹線番号の下に移動します。
型番	○	×	[盤の管理]ダイアログ上のみ変更します。
電源種類(1次側)	○	○	
電圧[V](1次側)			
相(1次側)			
電源種類(2次側)	×	×	
電圧[V](2次側)	○(※)	○	数値のみ入力できます。 項目タイプに「幹線番号」が設定されている場合は編集不可
相(2次側)	○(※)	○	項目タイプに「幹線番号」が設定されている場合は編集不可
運転時の定格/ 最大電流(合計)	○(※)	×	数値のみ入力できます。 [盤の管理]ダイアログ上の表示用の値に上書きされます。
負荷容量(合計)			
運転時の定格/ 最大電流(個別)	○	○	
負荷容量(個別)			
始動方式_工事区分			
始動方式	×	×	
台数			
親の幹線番号	×	×	